

千葉市美術館企画展「ジャポニスム―世界を魅了した浮世絵」を開催します！ ～日本初、西洋美術に影響を与えた浮世絵の特徴と魅力を探るユニークな展覧会～

千葉市美術館では、企画展「ジャポニスム―世界を魅了した浮世絵」を開催しますので、お知らせします。

本展は、西洋の美意識に大きな影響を与えた「ジャポニスム」というテーマから浮世絵の魅力を探る、千葉市美術館単独開催の展覧会です。

開催にあたり、1月11日（火）15：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しく下さい。

- 1 会期 令和4年1月12日（水）～3月6日（日）
休館日 2月7日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館
協力 日本航空



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》

天保2-4年(1831-33)頃 個人蔵

4 ポイント ◆ジャポニスムとは何か？

19世紀後半から20世紀初めにかけて、多くの美術工芸品が西洋に渡ったことにより、日本の美意識は西洋に新鮮な驚きを与え、視覚表現に大きな変化が起きました。これらの動向は「ジャポニスム」と呼ばれています。なかでも浮世絵版画は、フランスを中心にヨーロッパ全域、そして北米やロシアの芸術に影響を与えました。本展では、メトロポリタン美術館（アメリカ）やプーシキン美術館（ロシア）など国内外から集められた浮世絵、ジャポニスムの作品約220点をとおして、ジャポニスムの熱狂が世界へ広がる様子を紹介します。

◆北斎、広重にゴッホ、ホイッスラーらによる浮世絵とジャポニスムの名品220点が一堂に

これまで、西洋美術史から言及される事が多かった「ジャポニスム」というテーマを、本展ではジャポニスムに最も大きな影響を与えた浮世絵の側から検証。葛飾北斎、歌川広重らによる浮世絵の名品と、それらに影響を受けたゴッホ、ホイッスラーなどジャポニスムの作家たちの作品を通して、構図や視点、色といった多角的なテーマからジャポニスムを検証し、浮世絵の魅力や特徴を探ります。

◆知られざる、ロシアのジャポニスム作品を初めて本格的に紹介

ジャポニスムの動向はロシアでも観られましたが、これまで日本で本格的に紹介されることはありませんでした。本展では、北斎や広重から影響を受けたとされる、ロシアにおける木版画を中心としたジャポニスム作品を初めてまとまった形で展示します。

5 観覧料 一般 1,500円(1,200円)、大学生 800円(640円)

※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※ ()内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金。

※ 前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて1月11日まで販売(1月12日以降は当日券販売)。

※ ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18時以降は観覧料半額

6 関連イベント 展覧会に関連して、講演会やワークショップを開催

7 その他 本展のチラシ別添

「ジャポニスム—世界を魅了した浮世絵」披露説明会 開催概要

日時 1月11日(火) 15:00から

場所 千葉市美術館 8階展示室

内容 展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 田辺昌子

広報担当 磯野 愛

〒260-0013 中央区中央3-10-8

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp